

論点（案）

（提供する学問分野のあり方）

- 高等教育機関として、学生が多様な価値観に触れ、ともに学び合う環境が望まれるとすれば、これまで女子教育の観点から人文・家政系の学科を提供してきた岐阜市立女子短期大学について、全体像としての将来構想を描く中では、分野の追加や変更を検討する必要があるのではないか。
- 短大においてはこれまで主に職業に直結した教育内容が重視されてきたが、4年制ニーズへの対応も含めて将来像を考えた場合、学科の新設・再編等を資格取得などには必ずしもこだわらない観点から考えるのではないか。
- 各分野の高度な専門性育成と同時に、学生共通の教養教育において、従来のリベラルアーツに加えて重要視される能力の多様化（デジタル、STEAM、起業家精神等）にどのように対応していくか。
- 学問分野のあり方を考える上では、岐阜県内の既存の大学、特に国公立大学で手薄な分野をカバーしていく方向性が考えられるのではないか（その際、高校生の希望が高い分野も参考）。具体的にどういった分野が考えうるか。
- 現在の岐阜市立女子短期大学の教員構成・学科構成で培ってきたものを生かしつつ、発展的に新たな将来像を描くという観点から、提供する学問分野を考えていくことができないか。